

概 要

OECDに対する厚生労働省の財政的貢献の推移

年度	Ⅱ 部分担金			任意拠出金	
2005(H17)	88,765ユーロ	12,072千円	(化学品プロジェクト)	324,933ユーロ	44,191千円
2006(H18)	66,725ユーロ	9,075千円	(化学品プロジェクト、地域経済雇用開発プログラム)	324,933ユーロ	44,191千円
2007(H19)	102,839ユーロ	15,117千円	(化学品プロジェクト、地域経済雇用開発プログラム)	300,619ユーロ	44,191千円
2008(H20)	94,390ユーロ	15,480千円	(化学品プロジェクト、地域経済雇用開発プログラム)	276,977ユーロ	39,608千円
2009(H21)	94,937ユーロ	13,576千円	(化学品プロジェクト、地域経済雇用開発プログラム)	276,977ユーロ	39,608千円

- (注) 1. OECDの活動は、Ⅰ部分担金（全加盟国に共通する利害に関する中核的な活動に充てられるもの。外務省が一括して拠出）、Ⅱ部分担金（一部の加盟国が参加するプロジェクトに充てられるもの）及び任意拠出金（加盟国が任意にプロジェクトに拠出するもの）により運営されており、厚生労働省はⅡ部分担金や任意拠出金を通じて財政的貢献をしている。
2. 任意拠出金は、主に雇用政策、医療政策、社会政策等の分野に対し拠出している。

国際交流

概 要

国際交流の概要

厚生労働省では、厚生分野、労働分野における先進国共通の課題解決に資するため、政府間交流を行っている。

1. 近年の主な政策対話（過去3年）

時期	名称（開催地）	参加国	テーマ
2006年 3月	日・EUシンポジウム（ベルギー）	欧州連合、日本	グローバル化の中でのエンプロイアビリティの向上
2006年 4月	日韓政労使交流（東京）	韓国、日本	高齢者雇用促進政策
2006年11月	日独政労使交流（東京）	ドイツ、日本	就業促進施策（若年者、高齢者及びパートタイム労働者）、最低賃金制度
2007年 4月	日中韓三国保健大臣会合（韓国）	中国、韓国、日本	鳥・新型インフルエンザ対策
2007年 5月	日・北欧高齢化セミナー（ノルウェー）	ノルウェー、フィンランド、スウェーデン、日本	認知症と倫理・技術
2007年11月	日仏セミナー（フランス）	フランス、日本	女性の就労促進と家庭生活の両立
2008年1月	日・EUシンポジウム（東京）	欧州連合、日本	雇用・就労形態の多様化
2009年2月	日独仏3ヶ国シンポジウム（東京）	ドイツ、フランス、日本	介護制度